

シートの記載は、手書きで構いません。万が一の際に慌てないためにも事前に準備しておくことが大切です。

【記入例】

救急連絡シート			施設名	犬山●●施設
			住所	犬山市〇〇 △-X-□
			TEL	0568-〇〇-△△△△
作成日	R 1年 1月 1日	作成者	本人	家族・施設職員 (氏名 犬山 次郎 )

家族・施設職員が作成した場合は、氏名をご記入ください。

住所	犬山市大字五郎丸字〇〇 △-X-□ ●●マンション △号棟 □号室		
ふりがな 氏名	いぬやま たろう 犬山 太郎	性別	男・女
生年月日	M・T・S・H 9年9月9日	年齢	85歳 (R 1年 1月 1日現在)
連絡先 電話番号	0568-〇〇-△△△△ (自宅) 090-XXXX-□□□□ (携帯電話)		

◆医療情報

現在治療中の 病 気	高血圧 糖尿病	救急対応時に重要な情報となります。 ある場合は、最新の情報をご記入ください。	
過去に医師から 言われた病気	脳梗塞 心筋梗塞		
服用している薬	降圧剤、糖尿病薬、ワーファリン ※ お薬手帳等の情報がある場合は、持参してください。 ない場合は、記入してください。		
かかりつけ又は 協力医療機関	医療機関名	主治医氏名 (診療科目)	緊急時連絡先
	犬山〇〇病院	□□先生 (内科)	0568-〇〇-△△△△
	犬山●●医院	■ ■先生 (循環器)	0568-〇〇-△△△△

◆普段の生活

介護区分	要支援 2	歩 行	寝たきり・車椅子・補助歩行・自力歩行
会 話	可・不可	食 事	経口・介助経口・その他 ( )

◆緊急時連絡先

氏名	続柄	なるべく複数の連絡先をご記入いただき、電話番号は連絡が付きやすい番号を記入ください
犬山 次郎	長男 犬	
犬山 花子	次女 犬	

※この救急連絡シートは、救急業務以外には使用しません。

※救急搬送終了後に、同乗の施設職員に返却、又は家族、搬送医療機関へお渡しします。

時間がある場合は、裏面に救急要請の状況や現在行った処置などを記録してください。

# 救急要請の状況

※救急要請時に、時間がある場合は記載してください。

状態が悪く処置を行わなければならない場合は、処置を優先してください。

いつ・・・

○月○日 ○○時 ○○分頃

どこで・・・

施設の食堂で

何をしているとき・・・

夕食を食べている最中に

どうなった・・・

突然、意識がなくなった

直近のバイタルサイン

測定時間 ○○ 時 ○○ 分

意識

清明

声掛けに反応：

有

無

JCS

(Ⅲ-100)

呼吸数

20

回/分

脈拍数

60

回/分

血圧

100

/

60

mmHg

体温

36.0

℃

SpO2

90

%

瞳孔

左右3ミリ対光(+)

現在、実施した処置・薬剤など

酸素2ℓ投与して、SpO2は90%を維持

その他、救急隊に伝えたいこと（DNARの話し合い等）

右耳が聞こえにくいので、左側からゆっくり話かけてください。

脳梗塞の既往があり、左半身麻痺です。

肺がんの治療中ですが、本人には未告知です。注意してください。